



2020年3月期 中間年次報告書

自 2019年4月 1 日
至 2019年9月30日

アトムクス株式会社



目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の「令和元年8月九州北部豪雨」「令和元年台風15号」「令和元年台風19号」により、被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2019年4月1日から2019年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2019年12月

代表取締役社長 神保 敏和

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費の低迷、物流コストの上昇、海外においては米中間の貿易摩擦の激化、中東における地政学的リスクの高まりなど依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは第12次3ヶ年計画の最終年度である当期において、その目標を達成するべく、環境対応製品の拡販、顧客視点に立った製品開発、原材料をはじめとする生産コストの削減、新たなマーケティング活動を行うとともに、個々の業務の棚卸を行い効率化や生産性の向上に努めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48億63百万円(前年同期46億92百万円)、営業利益1億57百万円(同67百万円)、経常利益1億72百万円(同77百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億3百万円(同37百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

道路用塗料は、第1四半期から引き続き路面標示材と視覚障がい者誘導用シート及び路面標示の工事で使用する施工機械の販売が好調に推移し前年を上回りました。一方、建築用・床用塗料は、消費税増税前の需要が伸びなかったこと、海外情勢の影響により顧客である製造業等での設備投資が控えられたため、前年を下回りました。家庭用塗料は、ホームセンター分野での売上が改善できず前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて2億15百万円増加し、45億78百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

〈施工事業〉

顧客となる企業の設備投資が引き続き控えられ、床材工事の受注が低迷したため前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて43百万円減少し、2億84百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

通期の見通し

2020年3月期の通期業績につきましては、引き続き効率化や生産性の向上に努めてまいります。自然災害等による景気の低迷が予想されるため、売上高108億円(前連結会計年度103億21百万円)、営業利益3億90百万円(同2億80百万円)、経常利益4億10百万円(同3億1百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2億70百万円(同1億84百万円)を見込んでいます。

事業の概要

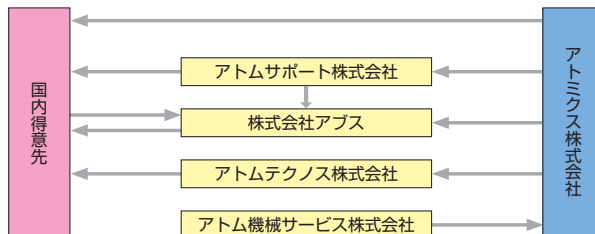
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



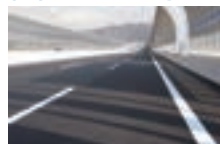
経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン、オンリーワンを目指します。

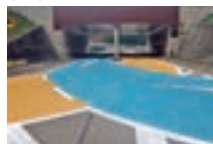
代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化技術をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

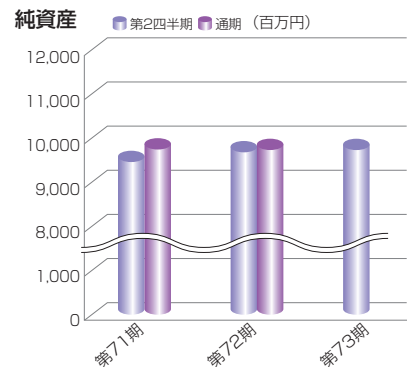
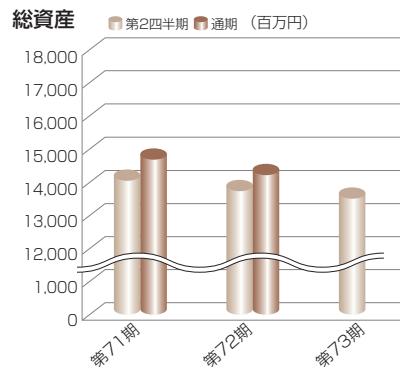
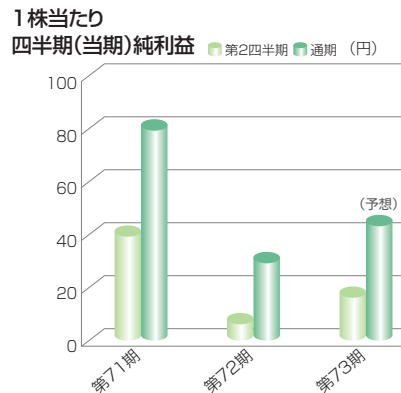
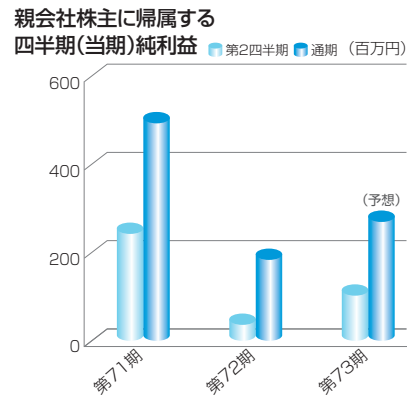
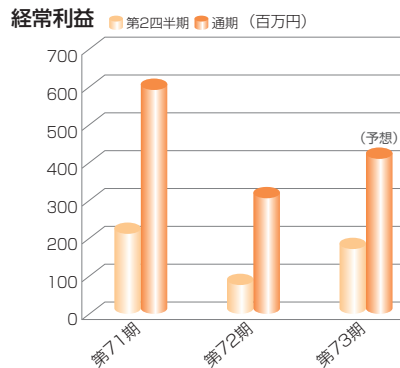
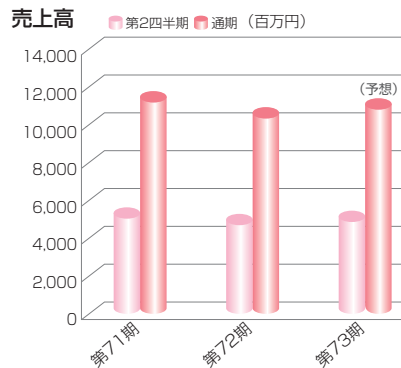
(5) 水性防水塗料



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用とアクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第71期 2018年3月期		第72期 2019年3月期		第73期 2020年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,045	11,178	4,692	10,321	4,863	10,800
経常利益 (百万円)	212	592	77	301	172	410
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	243	493	37	184	103	270
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	39.00	79.00	6.03	29.46	16.49	43.15
総資産 (百万円)	14,040	14,679	13,728	14,211	13,498	—
純資産 (百万円)	9,458	9,742	9,679	9,728	9,728	—

四半期連結決算報告(要約)



四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当第2四半期末 2019年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,508,169	7,836,317
固定資産	5,703,410	5,662,177
有形固定資産	4,480,600	4,489,616
無形固定資産	204,614	195,272
投資その他の資産	1,018,196	977,289
資産合計	14,211,580	13,498,494
(負債の部)		
流動負債	3,641,017	2,998,107
固定負債	841,565	772,351
負債合計	4,482,583	3,770,459
(純資産の部)		
株主資本	9,498,567	9,506,062
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	8,165,814	8,172,574
自己株式	△ 399,816	△ 399,081
その他の包括利益累計額	230,428	221,973
その他有価証券評価差額金	233,970	224,573
退職給付に係る調整累計額	△ 3,541	△ 2,600
純資産合計	9,728,996	9,728,035
負債純資産合計	14,211,580	13,498,494

四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上高	4,692,458	4,863,868
売上原価	3,299,252	3,357,753
売上総利益	1,393,206	1,506,114
販売費及び一般管理費	1,326,068	1,348,770
営業利益	67,138	157,344
営業外収益	13,511	17,380
営業外費用	3,612	2,674
経常利益	77,038	172,050
特別利益	249	49
特別損失	427	1,558
税金等調整前四半期純利益	76,860	170,542
法人税、住民税及び事業税	17,990	42,204
法人税等調整額	21,159	25,136
四半期純利益	37,710	103,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,710	103,201
その他の包括利益	△ 4,659	△ 8,455
四半期包括利益	33,050	94,745

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,144	431,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 101,662	△ 210,529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 287,175	△ 189,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	△ 7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 221,759	31,757
現金及び現金同等物の期首残高	2,877,766	2,726,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,656,007	2,758,009



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 234名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 神保敏和
 取締役 村岡正己
 花形裕透
 小川博巳
 富士田学
 田中滋子 (社外・独立役員)
 常勤監査役 佐藤亮介
 監査役 上原左多男 (社外・独立役員)
 石川伸吾 (社外)

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 968名
 大株主 (上位11名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトミクス取引先持株会	811	12.62
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口:75715口)	171	2.67
ナラサキライン株式会社	134	2.09
東洋テック株式会社	126	1.95
株式会社光通信	107	1.67
楠本化成株式会社	106	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.64

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する171,800株を除いた自己株式(812,617株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主
 確定日 3月31日
 中間配当金受領株主
 確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人・
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法 電子公告
 URL <https://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告
 によることができない場合は、日本
 経済新聞により公告いたします)

ATOMIX

<https://www.atomix.co.jp>